

平成 29 年度

石神中学校 学校図書館支援活動記録

学校図書館支援員 加茂秀子

1 学校図書館の概要

学校の紹介

生徒会主催の俳写コンクールを全生徒、教職員で取り組んでいる。

図書室は校舎の一階南端にあり、陽あたりがよく生徒や教職員が利用しやすい場所に位置している。
また、朝読書を行っており読書活動が活発に行われている。

平成 29 年度生徒数

1 年	2 年	3 年	合計
74 名	75 名	103 名	252 名

(平成 30 年 3 月末時点)

学校派遣日 木・金曜日 週 2 回

図書担当教員 須田まゆみ先生

学校図書館蔵書数 (4 月当初) 10,276 点

学校図書館受入点数 (3 月末時点) 597 点

うち 市費購入点数及び金額 379 点 (600,870 円)

うち 寄贈資料点数 217 点

うち 学校図書費購入点数 1 点

2 平成 29 年度の課題及び目標

課題 1 図書室利用の拡大につなげるため、魅力的な企画展示する。

課題 2 古い図書の見直し、ラベルの貼替え作業などの整備をする。

課題 3 電算システムの導入に向け、教職員と連携しスムーズに移行する。

目標 1 図書委員と共同し、生徒が図書室を利用したくなるような企画を考え実践する。

目標 2 分類ラベルの貼替え作業及び情報が古い資料は買い替えるなど図書整理を進める。

目標 3 電算システム導入に関する情報を共有し、話し合いをしながら作業を進める。

3 活動の方針

- ・分類ラベルが統一されておらず探しにくいいため、ラベルの整備を進めていく。
- ・調べ学習用の資料が古いので除籍を行う。少ない分類の図書と調べ学習用の本を充実させる。
- ・図書委員と共同しポスターや図書便りの作成を行う。
- ・電算化システムへの移行をスムーズにできるよう、教職員との連携をとる。

学校図書館年間活動計画（スケジュール）

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	生徒図書委員会活動内容	市立図書館との連携
4月	・担当の先生との打ち合わせ ・書架整理・清掃・廃棄作業 ・登録作業・テーマ展示 ・雑誌受入 ・中央図書館から本の貸出、返却作業 ・図書便り作成①	・組織編成 ・係分担の決定 ・活動内容、計画案の作成 ※以下は年間を通して行う ・図書の貸出しの準備 ・図書の整理 ・学級文庫の管理・入替	・学校図書館支援員会議 ・図書の借用開始 ・学校司書との打ち合わせ（月1回程度、～3月）
5月	・購入図書のリクエスト募集（～6月） ・購入図書の選書（～6月）	・図書貸出（年間を通して行う） ・図書便りの作成①	・ブックトーク研修
6月	・電算化作業（～12月）	・利用の呼びかけ ・新刊本の紹介 ・図書便りの作成②	・電算システム研修（学校教育課主催）
7月	・夏休み中の貸出に関する周知 ・図書便り作成②	・未返本者への催促 ・夏休み特別貸出 ・課題図書のお知らせ ・図書便りの作成③	・ライブラリーレター配布
8月	・蔵書点検	・未返却者への催促	・電算システム研修（学校教育課主催）
9月	・職場体験及び調べ学習時の中央図書館利用の準備 ・購入図書のリクエスト募集	・前期活動の反省 ・図書便りの作成④	
10月	・購入図書の選書 ・図書便りの発行③	・係分担と活動内容計画の確認 ・本の紹介	
11月	・市費購入図書受入配架、周知 ・読書増進イベント実施	・未利用者への呼びかけ ・新刊本の紹介 ・図書便りの作成⑤	・郡山市学校図書館視察研修
12月	・冬休み中の貸出に関する周知 ・図書便り作成④ ・電算システム運用開始	・冬休みの特別貸出	・ライブラリーレター配布 ・学校図書館活用教育講演会（学校教育課主催）
1月		・未返却者への催促 ・図書便りの作成⑥	
2月	・掲示物作成	・多読者の紹介 ・図書便り作成⑦	
3月	・図書便り作成⑤ ・次年度計画作成	・後期活動計画の反省 ・未返却者への催促	

4 年間活動内容

1 年間の主な活動記録

4 月

- ・「本の貸出開始日」の周知。
- ・企画展示「春に読みたい本」。
- ・1年生に「図書室オリエンテーション」の実施。(写真1)
- ・3年生より技術の授業にて製作したイーゼルの寄贈があった。貸出開始のお知らせ掲示に利用した。(写真2)
- ・保健室先生より保健室文庫の貸出依頼あり。
- ・先生向け「図書館便り」を発行。
- ・見出し表示板の設置。
- ・2年生理科の先生より、「科学について」調べ学習用図書の貸出依頼あり。



写真1
オリエンテーションの様子。



写真2
入口の目立つところに設置した。

5 月

- ・電算化システム導入について、校長先生、担当の先生と話し合いを行った。
- ・電算化システム導入のため、古い図書の選定作業、並行して図書の汚れふきとラベルの貼替え作業を始める。これは9月まで継続して行った。
- ・保健室の先生より「虫歯予防ポスター」作成用図書貸出の依頼あり。
- ・美術科の先生より「色彩・色の三原則について」の図書貸出の依頼あり。
- ・新着図書案内ポスターや課題図書案内POPの作成。図書委員に指導しながら共同で行った。
- ・「図書便り作成手順書」ファイルを作成した。
- ・2学年図書委員に図書便り作成についての指導、図書委員会と共同による「図書便り」の発行。
- ・電算化システム用パソコン・プリンターが搬入された。

6 月

- ・3学年図書委員に図書便り作成についての指導、図書委員会と共同による「図書便り」の発行。
- ・美術科の先生より「人物デッサン、水彩絵具の色の塗り方について」の図書の依頼あり。
- ・5月から行っていたラベル貼替え作業について、小説・文学(9類)全てと学級文庫用図書全てで作業が完了した。(写真3、4)
- ・電算化用パソコンの設置。バーコード貼付作業が始まった。(写真5)



写真3 作業前は数種類の古いラベルが貼ってある状態。



写真4 作業後、ラベル記号を統一し、探しやすくなった。



写真5 バーコード貼付作業の様子。図書委員会、文芸部生徒、自主的に協力してくれた他生徒、先生方の協力を得て行った。

7月

- ・3学年国語科の先生より「外来語や和語を調べる」ための図書貸出の依頼あり。
- ・企画展示「夏休みにおすすめの本」。「怖い本」「戦争と平和を知る本」の展示を行った。
- ・夏休み前の長期貸出の周知を行った。
- ・1学年図書委員に図書便り作成についての指導、図書委員会と共同による「図書便り」の発行。
- ・図書便りに掲載した「先生の心に残った1冊」(写真6)と「図書委員おすすめの本」(写真7)の紹介文を本と共にパネルに展示した。
- ・電算システムでの図書の登録作業が始まった。これは年度末まで継続して行った。
- ・小説・文学(9類)と学級文庫以外の図書のラベル貼替え作業を行った。これは電算化作業の合間に、年度末まで継続して行った。



写真6 「先生の心に残った本」をカウンター上に展示した。生徒たちの目に触れることで借りる生徒が見受けられた。

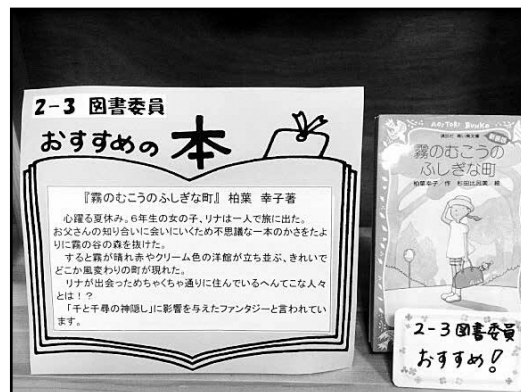


写真7 図書委員のおすすめ本のコーナー。紹介文を読んで、借りていく生徒が見受けられた。

8月

- ・1年生へ調べ学習用の新聞の準備。中央図書館の協力を得て、廃棄用新聞の全国紙3か月分と地方紙3か月分を準備した。(写真8)



写真8

新聞で地域を調べる

自分たちの地域の記事がどのように載っているかを全国紙と地方紙を調べ、まとめている生徒。

9月

- ・2年生職場体験について、事前に調べ学習用資料として職業に関する資料の貸出依頼があった。
- ・図書便り「秋の増刊号」の発行。

10月

- ・読書週間ポスターを作成し、読書と図書室利用の啓発を行った。
- ・企画展示「ハローウィン」。
- ・重複本、廃棄本の仮置き場所について担当の先生と話し合い。

11月

- ・来年度購読雑誌について担当の先生と話し合い。
- ・「読書祭り」を行った。スタンプラリーや図書館クイズ(写真9)を行い、ポイントに応じてしおりやブックカバーのプレゼントや、好きな景品に応募できる企画を行った。期間中は図書室来室者が増えた。
- ・生徒が寄贈してくれた写真の展示を行った。(写真10)
- ・図書便りの発行。
- ・2年生理科「天気のおくみ」について調べ学習用資料の貸出。
- ・購入図書の選書。発注。登録作業を行った。



写真9

読書祭りの図書館クイズ。めくると答えが確認できる。



写真10

生徒が撮った季節ごとの写真を図書室で展示。

12月

- ・地球儀を設置し、世界の地理の本を展示することにより、興味深く調べる生徒がいた。(写真11)
- ・図書便り冬の増刊号発行。
- ・他学校図書館支援員の提案で「本おみくじ」を協力して作成した。新春企画「本おみくじ」を準備し、おみくじにはラッキーブックとして本の紹介文を載せた。
- ・3年生理科の先生より「宇宙・天文について」調べ学習用資料の貸出。



写真11
企画展示「世界の国々～知らない世界が見えてくる～」



写真12
新春企画「本おみくじ」
おみくじ豆知識を掲示した。

1月～3月

- ・新春企画「本おみくじ」を行った。
- ・3年生応援企画「菅原道真家紋入りお守りプレゼント」を行った。
- ・「本を贈ろう～東都クリエート」より寄贈図書があった。
- ・図書委員会と共同による図書便りの発行。
- ・保健室と連携し「ビブリオセラピー」を行った。(写真13)
保健室で処方せんを書いてもらい、図書室に持っていくと今の自分にぴったりの本を借りることができる企画を行った。
また、展示する本は処方せんがなくても借りられる取り組みも行った。
- ・多読賞の発表・表彰。



写真13
展示する本は処方せんがなくても
借りることができる。

5 中央図書館からのサポート内容

- ・図書の発注処理
- ・学校図書館への貸出点数 357点/年

6 学校図書館利用実績

(1) 年間貸出点数

① 個人貸出点数

(単位：点)

	1 年	2 年	3 年	総合計
年間合計	295	80	209	584
一人あたり	4.0	1.1	2.0	2.3
一人あたりの昨年度比	138%	46%	63%	82%

※ 1 人 2 冊 1 週間の貸出。夏休み・冬休みの長期貸出は 1 人 2 ～ 3 冊の貸出。

② 学級文庫貸出点数

(単位：点)

	1 年 (3 クラス)	2 年 (3 クラス)	3 年 (3 クラス)	支援学級 その他	総合計
学年合計	120	120	195	41	476

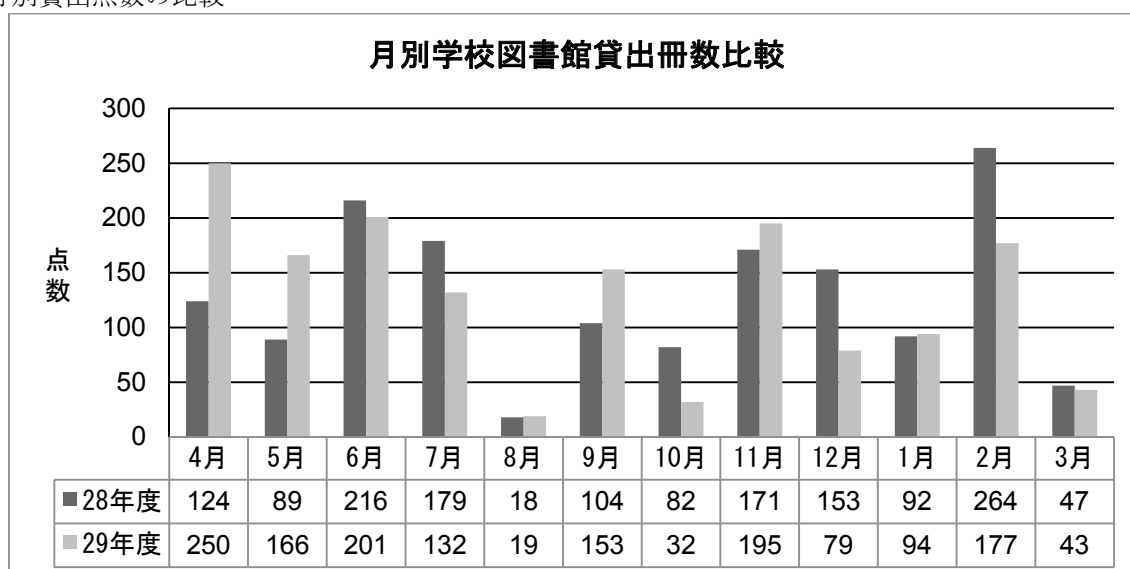
③ 調べ学習等貸出点数

(単位：点)

	1 年 (3 クラス)	2 年 (3 クラス)	3 年 (3 クラス)	支援学級他	総合計
学年合計	156	153	96	76	481
昨年度比	66%	191%	155%	53%	92%

(2) 学校図書館利用実績比較

月別貸出点数の比較



今年度より、貸出冊数を 1 人 2 冊までとした。4 月、5 月は 1 年生を対象にオリエンテーションを実施したことから、1 年生による貸出が多かった。7 月、8 月の貸出の減少は、電算化の導入開始

の時期に重なり、一時的に貸出を休止したためである。

11月は「読書祭り」開催によるスタンプラリーや図書館クイズ、景品への応募などがあつたため個人貸出が増加した。読書祭り期間中（11月16日～12月14日）の貸出冊数は、計95冊だった。1月は「新春企画本おみくじ」を開催し好評であった。図書館でのイベント開催時は、ふだん図書館に足が向かない生徒へのアプローチとなり、貸出数増加となっている。

7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

（1）本年度の成果

- 成果1 季節ごとの企画展示や、読書祭り、新春企画、ビブリオセラピーなどを行った。各企画のポスターを廊下等に貼りアピールすることで、普段図書室へ来ない生徒への刺激となった。
- 成果2 古い図書の抜き取り作業をし、図書室内にある図書のラベル貼替作業を8割程進めることができた。ラベルが統一されたことで、大変見やすくなった。
- 成果3 担当の先生と打合せをしながら電算システム導入を行うことができた。図書委員会にのみ電算システムのオリエンテーションを行い、学級文庫についてはシステムでの貸出を開始した。

（2）来年度に向けた課題

- 課題1 図書室を活用した「調べ学習」に対応できるよう図書の充実をはかり、図書室活用の拡大につなげる。
- 課題2 蔵書の増加に伴い、重複図書や仮置き図書の置くスペースが必要である。
- 課題3 個人貸出を電算システムで行うことができるよう、全図書の登録作業を行う。
- 課題4 電算システムを稼働するにあたって、利用の仕方を全教職員、全生徒へ周知する必要がある。